

## 平成19年度事業報告書

### I. 事業の状況

平成19年度の事業は以下のとおり実施した。

#### 1. 野球競技の普及振興及び調査研究

野球競技の普及振興を図るため、次の措置を講じた。

- (1) 野球競技の普及振興を図るため、全日本アマチュア野球連盟の行う事業への支援並びに(財)日本学生野球協会及び各少年野球団体等との連携及び協力関係の強化促進。
- (2) 野球競技者の体位向上並びに栄養学、予防医学に関する調査研究及びその成果の活用。
- (3) 各地域における野球競技の普及振興を図るため、各加盟団体の行う研修事業等に対する助成の充実。
- (4) 日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認スポーツ指導者認定事業に係わる調査検討。
- (5) 連盟内に委員会を設置し、理事会に対し答申をした。
- (6) ティー・ボール普及事業の実施。
- (7) (財)世界少年野球推進財団とともに、第18回世界少年野球大会・プエルトリコ大会(7月29日から8月6日、プエルトリコ・カロリーナ市、サリーナス市内で開催)を主催し、2名の委員を派遣した。

#### 2. 野球競技に関する講習会の開催並びに指導者、審判員及び記録員等の養成

##### (1) 指導者研修会(第31回)

1月13日から2日間、熱海後楽園ホテル(静岡県)で行われ加盟チーム監督等68名が参加した。

##### (2) 審判員講習会(第49回)

2月23日から3日間、大阪府・松下電器グラウンドに於いて、各地区の審判員55名が参加して行われた。

##### (3) 地域開催審判講習会に対する指導員派遣事業

2007年度は、11件(リトルシニア、九州、四国、千葉、茨城、新潟、宮崎、秋田、北海道、北信越、東北)の申請がありそれぞれ委員を派遣した。

##### (4) 記録員講習会

8月24日から12日間東京ドームに於いて開催された第78回都市対抗野球大会において記録員講習の実地研修として各地区連盟から9名が参加し、公式記録員を担当した。

##### (5) ストレングスコーチ研修会(第19回)

12月7日から2日間、愛知県名古屋市・オースプラザで行われ、加盟チームのトレーニング担当コーチ並びにトレーナーなど62名が参加した。

##### (6) 新人研修会(第25回)

10月26日から4日間、京都市・西京極球場で行われ、各地区連盟からの推薦に基づき

競技力向上委員会で選考した 47 名の選手が参加した。競技力向上委員会委員が指導を担当した。

(7) **アジア都市対抗野球大会（台湾）** ……………（資料 2 参照）

期 間 3月9日（金）～11日（日）

場 所 台北市・台湾

派 遣 TDKチーム

北海道選抜チーム

※文部科学省・スポーツ交流推進事業認定

**3. 野球競技に関する全国規模の各種国内大会の開催**

(1) **第78回都市対抗野球大会**

8月24日から12日間、東京ドームで開催された本大会では、神奈川県代表の「川崎市・東芝」（5年連続30回目の出場）が8年ぶり6度目の優勝を飾り、黒獅子旗を獲得した。

(2) **第32回全日本クラブ野球選手権大会**

9月7日から4日間、グッドウィルドーム（埼玉県）で開催された本大会では、関東地区代表の「茨城ゴールデンゴールズ」（3年連続3回目の出場）が初優勝を飾った。

(3) **クラブ各ブロック大会**

2006年度より制定され2年目を迎えたクラブカップ大会は、全国を3ブロックに分けて以下のとおり行われた。出場は、全日本クラブ選手権大会予選において次点となったチームとし、それぞれ8チームにより大会を行った。

① **第2回東日本クラブカップ大会**

8月11日から2日間、札幌円山、千歳市民両球場（北海道）で開催。北海道マリーンズ（北海道）が優勝した。

② **第2回中日本クラブカップ大会**

8月11日から2日間、小瀬球場（山梨県）で開催。富山ベースボールクラブ（北信越）が優勝した。

③ **第2回西日本クラブカップ大会**

8月11日から2日間、山口県周南市野球場で開催。北九州市民硬式野球クラブ（九州）が優勝した。

(4) **第34回社会人野球日本選手権大会**

11月15日から11日間、京セラドーム大阪で開催された本大会は、東海地区代表の「トヨタ自動車」（5年ぶり8回目の出場）が初優勝を飾り、ダイヤモンド旗を獲得した。社会人野球制度改革の一環として、本年度より指定する9つのJABA大会の優勝チームにも出場権を与えることとなり、都市対抗野球大会及び全日本クラブ野球選手権大会の優勝チームとあわせて32チームが本大会に駒を進めた。

#### (5) 2007年度各 J A B A 公式大会

2007年度各 J A B A 公式大会の結果（主要大会のみ）・・・（資料 2 参照）

#### 4. 野球競技に関する各種国際大会、国際親善試合の開催に対する代表参加者の派遣

##### (1) 国際大会等に参加する日本代表チームの代表参加者の派遣

###### ① ロッテルダムワールドポートトーナメント

東都大学リーグ 1 部 2 部の大学から 24 名を派遣した。大会は日本、アメリカ、キューバ、台湾、オランダの 5 カ国で争われ、日本は 8 戦全敗で最下位に終わった。

日 程：2007 年 8 月 2 日から 12 日

開催地：オランダ・ロッテルダム

成 績：1 位キューバ 2 位台湾 3 位アメリカ 4 位オランダ 5 位日本

###### ② 第 7 回 BFA AAA アジア選手権

JABA 加盟チームに所属する 18 歳以下の選手 18 名を派遣した。大会は日本、韓国、台湾、香港、パキスタン、タイの 6 カ国で争われ、日本は 3 勝 2 敗で 3 位。なお、柏木佑典選手（マルユウベースボールクラブ）が大会打点王を獲得している。

日 程：2007 年 8 月 25 日から 29 日

開催地：台湾・台中

成 績：1 位台湾 2 位韓国 3 位日本 4 位タイ 5 位スリランカ 6 位香港

###### ③ 第 13 回 IBAF AA 世界選手権

2007 年の第 13 回大会は 8 月 17 日から 25 日までベネズエラで、10 カ国（日本・アメリカ・キューバ・コロンビア・フランス・ブラジル・メキシコ・アルーバ・台湾・ベネズエラ）の参加で開催されることになっていたが、ベネズエラ政府が政治的理由で台湾選手団にビザを発給しなかったため、IBAF はベネズエラの開催権を剥奪、同大会は中止になった。ただし、台湾を除く 9 カ国はすでに現地入りした後で通告されたため、9 カ国による国際親善大会が代替として行われ、アメリカが優勝、日本は 5 位であった。

日 程：2007 年 8 月 17 日から 25 日

開催地：ベネズエラ

成 績：大会中止

###### ④ 北京五輪テストイベント「グッドラック北京 2007」

2008 年北京五輪テスト大会と位置づけられる「グッドラック北京 2007」が中国・北京で開催され、プロ 18 名と大学生 6 名の計 24 名を派遣した。

日本は、決勝で中国を 5 対 2 で下すなど、星野代表監督が臨んだ初の公式大会を全勝優勝で飾った。

日 程：2007 年 8 月 18 日から 23 日

開催地：中国・北京

成 績：1 位日本 2 位中国 3 位フランス 4 位チェコ

###### ⑤ 第 37 回 IBAF ワールドカップ

社会人 21 名と大学生 3 名の計 24 名を派遣した。軒並みプロ選抜で構成した参加各国に対し、日本はアマチュア選手のみで大会に臨んだが、結果は 3 位という素晴らしい成

績を収めた。なお、大会優秀投手に攝津正選手（JR 東日本東北）、大会ベストナインに西郷泰之選手（三菱ふそう川崎）が選出された。

日 程：2007年11月6日から18日

開催地：台湾・台中

成 績：1位アメリカ 2位キューバ 3位日本 4位オランダ 5位韓国

6位オーストラリア 7位メキシコ 8位台湾

Aグループー5位パナマ 6位イタリア 7位スペイン 8位南アフリカ

Bグループー5位カナダ 6位ベネズエラ 7位ドイツ 8位タイ

⑥ 北京五輪アジア大陸予選（第24回BFAアジア選手権）

プロ23名大学生1名を派遣した。中国が開催国枠で本選進出をすでに決定しているため、アジア枠1ヶ国を韓国、台湾と争う厳しい大会となったが、プロ選手で構成する日本は接戦の末に3連勝を飾り見事本大会進出を決めた。

日 程：2007年12月1日から3日

開催地：台湾・台中

成 績：1位日本 2位韓国 3位台湾 4位フィリピン

## 5. 野球競技者の競技力向上の推進

### (1) 日本代表チーム強化練習への候補選手及び選手等の派遣

① 第1回強化合宿（大学生）

6月22日（金）～24日（日）平塚市

② 第2回強化合宿（社会人、大学生）

7月27日（金）～30日（月）鶴岡市

③ 第3回強化合宿（社会人）

9月6日（木）～9日（日）鶴岡市

④ 第4回強化合宿（W杯直前）

10月31日（水）～11月3日（土）神奈川

⑤ 第5回強化合宿（大学生）

12月7日（金）～9日（日）松山市

⑥ BFA AAAアジア選手権選考合宿

7月28日（土）～29日（日）鶴岡市

⑦ BFA AAAアジア選手権直前合宿

8月20日（月）～22日（水）神戸市

⑧ 北京五輪アジア地区予選（第24回BFAアジア選手権）直前合宿

10月30日（火）～11月7日（水）神戸市、

11月12日（月）～11月30日（金）宮崎市、福岡市、台中市

### (2) プロ・社会人交流試合の実施……………（資料2参照）

## 6. 野球競技に関する競技規則の制定

日本アマチュア野球規則委員会に委員を派遣し、競技規則の整備と制定に参画した。

## 7. 野球競技の競技施設並びに用器具等の指導及び公認

### (1) 各地区における野球競技施設の指導及び公認

### (2) 使用球及び金属製バットの公認

- ① 使用球の公認＝イソノ、ミズノ、久保田、松勘工業、ナガタ、スミヤ、那須、ゼット、エスエスケイ、アシックス、一光スポーツ、ハイゴールド以上12社  
※準公認 サンアップ
- ② 金属製バットの公認＝“新安全基準”に適合するバット  
(Nマーク記号のあるもの)のみの使用に限定。

### (3) 用器具等の指導及び公認

(財)製品安全協会に委員を派遣し、意見具申。

### (4) 「NPO法人アオダモ資源育成の会」への参画

「アオダモ資源育成の会」に委員を派遣。

## 8. 財団法人日本体育協会及び全日本アマチュア野球連盟に対する加盟並びにそれらの事業への協力

### (1) (財)日本体育協会への協力

- ① (財)日本体育協会に役員等を派遣し、意見具申。
- ② 全国スポーツ指導者連絡会議に委員を派遣し、意見具申。

### (2) 全日本アマチュア野球連盟の事業に対し、次の措置を講じた。

- ① 全日本アマチュア野球連盟の事業に対する分担金を拠出した。
- ② 全日本アマチュア野球連盟が行った4の(1)及び5の(1)の事業に対し、競技者及び役員等の派遣

## 9. 全日本アマチュア野球連盟を通じた国際野球連盟、アジア野球連盟、全日本野球会議及び財団法人日本オリンピック委員会の事業に関する協力

### (1) 国際野球連盟 (IBAF) の人事について

8月18日にフランクフルト (ドイツ) で開催された IBAF 臨時総会において、松田昌士 (日本野球連盟会長) 氏が、第1副会長に選出された。…………… (資料2参照)

### (2) 国際野球連盟 (IBAF) 及びアジア野球連盟 (BFA) への参画

- ① IBAF 臨時総会 2007年2月27日～3月3日 中国・北京  
出席 松田全アマ会長代行、鈴木全アマ副会長、小檜山全アマ国際担当
- ② BFA 執行委員会 2007年2月27日～3月4日 中国・北京  
出席 松田全アマ会長代行、鈴木全アマ副会長、小檜山全アマ国際担当
- ③ IBAF フランクフルト会議 2007年7月1日～4日 ドイツ・フランクフルト  
出席 松田全アマ会長代行、小檜山全アマ国際担当
- ④ アジア野球サミット 2007年7月9日  
出席 松田全アマ会長代行、鈴木全アマ副会長、田和全アマ専務理事、小檜山全アマ国際担当

- ⑤ **IBAF 臨時総会** 2007年8月18日～19日 ドイツ・フランクフルト  
出席 松田全アマ会長代行、鈴木全アマ副会長、小檜山全アマ国際担当、  
長谷川 (NPB)、中村 (NPB)
- ⑥ **IBAF 臨時総会** 2007年11月8日 日本・東京  
出席 松田全アマ会長代行、小檜山全アマ国際担当
- ⑦ **BFA 執行委員会** 2007年11月26日 台湾・台中  
出席 松田全アマ会長代行、小檜山全アマ国際担当
- ⑧ その他：野球関係者との対談 (来日)
  - ・2007年1月22日 ドン・フィアー **MLBPA**  
出席 松田全アマ会長代行、小檜山全アマ国際担当
  - ・2007年7月18日 ドン・フィアー、ピーター・ミラー **MLBPA**  
出席 鈴木全アマ副会長、後日本野球連盟専務理事、小檜山全アマ国際担当、  
柴田全アマ事務局、藤本全アマ事務局
- ⑨ その他：外国訪問
  - ・2007年5月6日～10日 オーストラリア  
出席 小檜山全アマ国際担当
  - ・2007年5月20日～24日 アメリカ・ニューヨーク  
出席 松田全アマ会長代行、小檜山全アマ国際担当
  - ・2007年7月1日～4日 ドイツ・フランクフルト  
出席 松田全アマ会長代行、小檜山全アマ国際担当
  - ・2007年7月9日～11日 香港  
出席 松田全アマ会長代行、小檜山全アマ国際担当
  - ・2007年7月22日～28日 タイ、マレーシア、シンガポール、インドネシア、  
フィリピン  
出席 松田全アマ会長代行、小檜山全アマ国際担当、藤本全アマ事務局
  - ・2007年8月6日～8日 モンゴル  
出席 松田全アマ会長代行、柴田全アマ事務局
  - ・2007年8月9日～12日 インド  
出席 小檜山全アマ国際担当
  - ・2007年10月7日 アメリカ・ニューヨーク  
出席 松田全アマ会長代行、小檜山全アマ国際担当
  - ・2007年11月5日 台湾  
出席 松田全アマ会長代行、鈴木全アマ副会長、小檜山全アマ国際担当
  - ・2007年11月18日 台湾  
出席 松田全アマ会長代行、小檜山全アマ国際担当
  - ・2007年11月30日～12月4日 台湾  
出席 松田全アマ会長代行、鈴木全アマ副会長、小檜山全アマ国際担当  
田和全アマ専務理事、後日本野球連盟専務理事、内藤学生野球協会事務局長
- (3) **全日本野球会議への参画**
  - ① 全日本野球会議幹事会へ代表者が出席し、意見具申
  - ② 全日本野球会議全体会議へ代表者が出席し、意見具申
  - ③ 各委員会主催事業への参画

- ・日本代表編成委員会
  - 〔編成強化部会〕 日本代表チームの強化に関する諸事業の企画・運営にあたるため、委員を派遣。
  - 〔医科学サポート部会〕 日本代表チームを医科学の面からサポートするため、委員を派遣。
  - 〔マーケティング部会〕 日本代表チームの強化事業を財政的にサポートすることを目的とした収益活動を推進するため、委員を派遣。
- ・技術指導委員会
 

野球指導者講習会（12/8～9・兵庫、1/18～20・千葉）の開催や指導者の派遣等に関わる委員等の派遣。
- ・普及・振興委員会
 

全国各地で開催される野球教室等の支援に関わる事業を推進するための委員の派遣。
- ・審判技術委員会
 

プロ・アマ審判代表者で構成され、審判技術の研究並びにアンパイアスクール（12/8～9・埼玉、12/15～16・宮崎）の実施に関わる委員を派遣。
- ・国際委員会
 

国際的な諸問題にプロ・アマ協力して取り組んでいくために設けられた委員会。プロ・アマ双方から委員を派遣。

## 10. 野球競技に関する刊行物の発行

- (1) 「財団法人 日本野球連盟 連盟報」（2007年版）の発行
- (2) 2007年版「公認 野球規則」の発行
- (3) 「JABA ニュース」の発行
- (4) 社会人野球ガイドブック「グランドスラム」（小学館刊行）に対する制作協力

## 11. 諸外国における野球競技の普及振興に関する協力援助

アジア野球連盟加盟国等に対する援助

- (1) 用具の提供 アジア野球連盟加盟諸国に対する用具提供を行った。
- (2) コーチの派遣 アジア野球連盟の要請に応じて委員を派遣した。  
10月2日から7日までインドに2名（池田善吾氏、佐竹政和氏）を派遣した。

## 12. その他目的を達成するために必要な事業

- (1) 野球競技の普及振興等協議のため、地区連盟会長等との懇談会（8月25日）開催。
- (2) (財)野球体育博物館に役員、評議員を派遣し、意見具申。
- (3) (財)スポーツ安全協会に評議員を派遣し、意見具申。

## ◇ その他

- (1) 2007年度加盟団体及び加盟チームの推移 ……………（資料2参照）

(2) 2007年度加盟団体加盟チーム数及び登録者数 …………… (資料2参照)

(3) 2007年度一般賛助 (JABAクラブ) 会員数 …………… (資料2参照)

(4) 2007年度 社会人野球ベストナイン表彰

位 置	氏 名	年 令	所 属	回 数
投 手	服 部 泰 卓	25	ト ヨ タ 自 動 車	初
捕 手	澤 文 昭	26	J R 東 日 本	初
一 塁 手	西 郷 泰 之	35	三 菱 ふ そ う 川 崎	6
二 塁 手	佐 野 比 呂 人	30	ト ヨ タ 自 動 車	初
三 塁 手	平 馬 淳	32	東 芝	2
遊 撃 手	沖 津 大 和	28	J R 北 海 道	初
外 野 手	中 尾 敏 浩	25	J R 東 日 本	初
	長 野 久 義	23	H o n d a	初
	林 稔 幸	26	富 士 重 工 業	2
指 名 打 者	該 当 者 な し			

(5) 2007年度諸会議開催状況

① 評議員会

第1回定時評議員会 2月26日 熱海後樂園ホテル  
第1回臨時評議員会 (文書) 10月15日  
第2回臨時評議員会 (文書) 12月20日

② 理事会

第1回定時理事会 2月26日 熱海後樂園ホテル  
第1回臨時理事会 8月23日 東京ドームホテル  
第2回定時理事会 11月14日 ホテル日航大阪

③ 常任理事会

第1回常任理事会 2月14日 ※連盟会議室  
第2回常任理事会 3月19日 KKRホテル東京  
第3回常任理事会 3月16日 ※連盟会議室  
第4回常任理事会 11月1日 連盟会議室

④ 各委員会

地域活性化委員会 8月24日 東京ドームホテル  
事業委員会 7月27日 連盟会議室  
事業運営地域部会 12月20日 連盟会議室

競技力向上委員会	1月11日	熱海後樂園ホテル
	8月25日	東京ドーム
	11月24日	京セラドーム大阪
規則・審判委員会	1月24日	※連盟会議室
	2月14日	※連盟会議室
	2月22日	松下電器
	7月 2日	連盟会議室
	11月15日	京セラドーム大阪
⑤ 各地区連盟会長会議	8月25日	東京ドーム
⑥ 各地区連盟事務担当者会議	11月16日	京セラドーム大阪

※はパレスサイドビル内

#### (6) 2007年度慶弔及び事務局人事

##### ◇ 慶事

- ・ 野球殿堂入り 松永 怜一 (参与)

##### ◇ 表彰

- ・ 2007毎日スポーツ人賞 (毎日新聞社) において、第32回全日本クラブ野球選手権大会で初優勝を飾った「茨城ゴールデンゴールズ」チームに文化賞が贈られた。
- ・ 第57回日本スポーツ賞 (読売新聞社) において、第78回都市対抗野球大会で6度目の優勝を飾った「川崎市・東芝」チームに2007年度競技団体別最優秀賞が贈られた。

##### ◇ 逝去

2007年 6月 2日 奥平 保 (元評議員)

2007年 6月16日 渡辺 襄 (元相談役)

##### ◇ 事務局人事

2007年 2月 1日 発令 主任 外立 俊之 (新規採用)

2007年 4月 1日 発令 事業課長 鈴木 健一 (新日本石油から出向)

2007年 4月 1日 発令 主任 藤本 溪 (新規採用)

## II. 処務の概要

### 1. 役員等に関する事項

平成19年度末現在役員等

役名	氏名	就任年月日	担当職務	手当
理事	松田 昌士	平成17年2月21日	会長・会長の職務	なし
理事	鈴木 義信	平成 3年2月13日	副会長、理事会、事業計画	有
理事	川島 勝司	平成 5年2月18日	副会長、競技力向上	なし
理事	朝比奈 豊	平成18年10月10日	副会長、特命事項	なし
理事	後 勝	平成 9年2月19日	専務理事、理事会、事務局	有
理事	柳 俊之	平成11年2月17日	北海道地区連盟	なし
理事	根津 裕彦	平成12年2月22日	中国地区連盟	なし
理事	原田富士雄	平成12年2月22日	理事会、会長の特命事項	なし
理事	野端 啓夫	平成12年2月22日	理事会、会長の特命事項	なし
理事	小暮 昇吾	平成13年2月20日	関東地区連盟	なし
理事	瀬籐 宣彦	平成13年2月20日	九州地区連盟	なし
理事	林 省司	平成13年2月20日	四国地区連盟	なし
理事	山田 智千	平成15年2月20日	理事会、会長の特命事項	なし
理事	麻生 紘二	平成16年1月23日	審判・野球規則	なし
理事	渡邊 学	平成17年2月21日	東北地区連盟	なし
理事	押谷 武治	平成19年2月26日	東海地区連盟	なし
理事	藤田 孝二	平成19年2月26日	近畿地区連盟	なし
理事	大田垣耕造	平成19年2月26日	理事会、会長の特命事項	なし
理事	西條 明博	平成19年2月26日	北信越地区連盟	なし
理事	上遠野健一	平成19年10月15日	常任理事・理事会、事業計画	なし
監事	川嶋 弘	平成17年2月21日	法人の財産、理事の職務執行状況監査	なし
監事	荒木 康次	平成17年2月21日	法人の財産、理事の職務執行状況監査	なし
監事	藤岡 行弘	平成17年12月27日	法人の財産、理事の職務執行状況監査	なし

### 2. 職員に関する事項

職務	氏名	就任年月日	担当職務	手当	備考
事務局次長	後 勝	平成11年4月 1日	事務局総括	有	兼理事
国際事業企画課長	崎坂 徳明	平成 3年3月18日	局長補佐	有	
総務課長	柴田 穰	平成 8年9月 1日	一般事務	有	出向
事業課長	藤嶺 典優	平成16年12月20日	一般事務	有	出向
係長	鈴木 健一	平成19年4月 1日	一般事務	有	
主任	遠藤 周子	平成 9年1月 1日	一般事務	有	
主任	外立 俊之	平成19年2月 1日	一般事務	有	
主任	藤本 溪	平成19年4月 1日	一般事務	有	
主任	池田 浩子	平成14年4月 1日	一般事務	有	

3. 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開催月日	議 事 事 項	会議の結果
2月26日	議案第1号 評議員の辞任及び任命に関する件	承認
	議案第2号 全日本少年硬式野球連盟の新規加盟登録に関する件	承認
	議案第3号 加盟チームの登録抹消に関する件	承認
	議案第4号 事務所移転に伴う寄附行為の改正に関する件	承認
	議案第5号 2006年度事業計画実施報告に関する件	承認
	議案第6号 2006年度収支決算に関する件	承認
	議案第7号 各種規程の改正並びに制定に関する件	承認
	議案第8号 2007年度事業計画に関する件	承認
	議案第9号 2007年度収支予算に関する件	承認
	諮問第1号 2008年度における日本選手権対象となるJABA大会について	継続審議
8月23日	議案第10号 2007年度・2008年度人事に関する件	承認
	議案第1号 人事に関する件	承認
	諮問第1号 事業計画に変更並びに第1次補正予算案に関する件	承認
11月14日	諮問第2号 各種事業について	承認
	議案第1号 人事に関する件	承認
	議案第2号 規約等の改正に関する件	承認
	諮問第1号 2007年度第2次補正予算案	承認
	諮問第2号 2008年度事業計画案に関する件	承認
	諮問第3号 2008年度各種年会費に関する件	承認
	諮問第4号 2008年度暫定収支予算に関する件	承認

(2) 評議員会

開催月日	議 事 事 項	会議の結果
2月26日	議案第1号 全日本少年硬式野球連盟の新規加盟登録に関する件	承認
	議案第2号 寄附行為の改正に関する件	承認
	諮問第1号 2006年度事業計画実施報告に関する件	承認
	諮問第2号 2006年度収支決算に関する件	承認
	諮問第3号 2007年度事業計画に関する件	承認
	諮問第4号 2007年度加盟団体負担金及び登録料に関する件	承認
	諮問第5号 2007年度JABAクラブ入会金及び年会費に関する件	承認
	諮問第6号 2007年度JABA公式大会等への参加料に関する件	承認
	諮問第7号 2007年度加盟団体補助費等の支給に関する件	承認

・	諮問第8号	平成18年度収支予算に関する件	承認
・	議案第3号	理事及び監事の選任に関する件	承認
10月15日	議案第1号	理事の辞任に関する件	承認
	議案第2号	補正予算案に関する件	承認
12月20日	議案第1号	補正予算案に関する件	承認

4. 認可及び承認に関する事項

該当なし

5. 契約に関する事項

契約年月日	相手方	契約の概要
H19年3月1日	(株)ジェイアール東日本ビルディング	新事務所の賃貸借契約

6. 寄附金に関する事項

(単位：円)

寄附の目的	寄附者	申込金額	領収金額	備考
国内野球事業の普及と振興	(財) 水野スポーツ振興会	1,500,000	1,500,000	
国内野球事業の普及と振興	(株) エスエスケイ	1,000,000	1,000,000	
国内野球事業の普及と振興	(社) 日本野球機構	10,000,000	10,000,000	

7. 主務官庁指示に関する事項

該当なし

8. その他重要事項

該当なし

登録者の異動状況書

登録者種別	登録者数		増減数	摘要
	平成19年12月31日現在	平成18年12月31日現在		
役員	2,015名	1,964名	51名	
競技者	11,884名	11,640名	244名	
一般	1,950名	1,882名	68名	
合計	15,849名	15,486名	363名	